

「第2回 製剤機械技術学会 仲井賞若手研究者奨励賞」 受賞者の選考結果について

The 2nd NAKAI Young Investigator's Encouragement Award of Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会 委員長 山本 浩充
Hiromitsu YAMAMOTO
Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立10周年を機に、2000年より「仲井賞」を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。2017年1月に本会名誉会長仲井由宣先生がご逝去されました。製剤機械技術学会は仲井先生のお持ちであった本会創設にあたっての理念、目標を継承、発展することを目的とし、新たに「仲井賞若手研究者奨励賞」を設け、基礎研究、応用研究、または技術開発を通じて優れた業績を上げた40歳未満の会員を表彰することにいたしました。

仲井賞選考委員会において、応募内容について、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第2回製剤機械技術学会仲井賞若手研究者奨励賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

記

- ・ 受賞者：東 顕二郎（千葉大学大学院薬学研究院）
- ・ 授賞業績題目：固体 NMR による薬物溶解性改善製剤の分子状態評価
- ・ 授賞理由：授賞者は、固体 NMR を利用することでシクロデキストリンによる包接複合体やナノ結晶化製剤、固体分散体などの分子状態や分子間相互作用を固体状態で解析することを可能にする独創的な手法を確立した。本技術は、医薬品の品質管理や分析技術に役立ち、製剤設計者、製造機器メーカー、分析機器メーカーなど幅広い分野への応用が可能で、製剤技術の発展に大いに貢献することが期待される。これらの研究実績は、本賞の趣旨に沿ったものであり、製剤機械技術学会への貢献度も大である。さらに、本学会を始め、製剤関係の各種学会で幅広く委員会などの活動をされており、今後ますますの活躍が期待される若手研究者である。
以上のことから、東 顕二郎氏は仲井賞若手研究者奨励賞に値すると判断した。

以上